

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2375601016
事業所名	グループホームあま恵寿荘

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	地域行事として稲沢の福祉祭りに参加したり、話し相手のボランティアを受け入れたりして、地域交流の機会を広げている。 広報誌で地域の情報収集を行うなど、積極的に生活範囲を拡大できるよう努めている。	
重点項目	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	運営推進会議は年2回であり、今年度の開催回数は少ない。会議内容は状況報告が主体で、市役所や包括支援センター、民生委員の参加は初回のみにとどまっている。また、参加者が少ないために運営推進会議の定期的な開催を行うことが困難な状況といえる。参加者の多様化など、今後の取組みを期待したい。	×
重点項目	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	運営推進会議に市役所、包括支援センターの参加があり、介護現場の状況を報告している。継続的な運営推進会議への参加を依頼しており、連携を図れるように努めている。	
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	訪問時や家族会・電話など、家族が気軽に意見を出せるようコミュニケーションを図っている。 毎月の便りで、利用者の指絵や直筆の言葉を伝え、職員が本人の様子をコメントして家族の安心につなげている。	
重点項目	その他軽減措置要件	評価
	「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	
	運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	×
	運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	×
総合評価		×

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	×	×				

1. 外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	（例示） 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	（例示） 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	（例示） 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

（注）要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。